



生活・安全

安全で安心なまちを目指して

冬道の事故防止と飲酒運転根絶

冬の路面は積雪や気温の低下などにより道路が非常に滑りやすく、路面の状況も刻一刻と変化します。

時間に十分なゆとりを持ち、ゆっくり行動することを心掛けて、交通事故を防ぎましょう。

また、コロナ禍により新年会などを中止することが考えられますが、例年ではお酒を飲む機会が増える時期であり、飲酒運転による事故が増加する傾向にあります。飲酒運転は極めて悪質な犯罪です。「飲酒運転をしない、させない、許さない」を合言葉に、地域から飲酒運転を無くしましょう。

運転者の冬道事故防止ポイント

○凍結・圧雪路面では、急ブレーキ時の制動距離（ブレーキ距離）が、夏場の乾燥路面と比べ3倍から10倍以上になります。急ブレーキや急発進をせずに、慎重な運転を心掛けましょう。

【問い合わせ】
町環境政策課
生活安全グループ
☎ 73-7510

○交差点進入時は、轍やアイスバーンなどの路面の変化に注意しましょう。また、雪山の死角から歩行者や車が突然出てくる場合があるので、十分に注意しましょう。

○悪天候時に外出する際は、天気予報や交通情報を確認し、不要な外出は控えましょう。

○歩行者の近くを通過する際は、安全な間隔の保持と徐行運転をして、突然の転倒や急な飛び出しなどに対応できるよう心掛けましょう。

歩行者の冬道事故防止ポイント

○歩くときは歩幅を小さくし、足の裏全体に体重をかけるように歩きましょう。

○道路を渡るときは必ず横断歩道を利用し、信号が青でも、左右を確認してから渡りましょう。

○夕方から夜にかけて外出するときは、運転者の目につきやすいように明るい色の服装や夜光反射材を身に付けましょう。

警察署からのお知らせ

緊急通報は110番、相談電話は「#9110」

110番は、緊急の事件・事故などをいち早く警察へ通報するための緊急電話です。応対した警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を説明します。

携帯電話で110番にかける場合、歩きながらの通報は、通話が途切れることがあるので控えてください。

また、車の運転中の通報は法令違反になる場合があるので、安全な場所に停車してから通報してください。

緊急の対応を必要としない遺失物・取得物の届け出、諸手続きに関する照会などは、最寄りの警察署・交番・駐在所にお電話ください。

また、各種相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

【問い合わせ】
栗山警察署
☎ 0110



栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 写真コンテスト展示会

栗山の素晴らしい風景、人の魅力、農業体験の様子を捉えた93点の写真を展示します。ぜひお越しください。

【日時】 令和3年1月16日(土)～2月8日(月) 9:00～22:00
※2月8日(月)は16:00までです。

【場所】 カルチャープラザ「Eki」1階ロビー

【問い合わせ】 栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会（栗山町農業振興公社内） ☎ 73-2500



ごみ分別への ご協力をお願いします

冬期間のごみ収集

悪天候時はごみの排出を控えましょう

大雪や吹雪などの悪天候の日、視界不良や悪路によりごみ収集が大幅に遅れる場合があります。安全にごみ収集を行うため、悪天候の日には可能な限りごみの排出を控え、次回収集日に排出するようにご協力をお願いします。

また、新聞紙などの紙類や衣類は資源物として売却しています。雪で濡れると売却できなくなりまので、天候を考慮した排出をお願いします。

鳥獣対策をお願いします

冬期間はカラスや小動物のえさが少なく、ごみが荒らされることが多くなります。ごみが散乱すると、ごみ収集にたいへん支障をきたします。各ごみステーションの状況に合わせて、次のような対策を推奨します。

○ネットの場合

①カラスのくちばしが通らない程

【問い合わせ】
町環境政策課
環境政策グループ
☎ 73-7511

度の網目の細かいネットを使用
②排出したごみがはみ出さないように、全体を包むように覆う
③鎖やコンクリートブロックなどでおもりを付け、風によるあおりや、カラスがネットを持ち上げることを防ぐ

○金属製ごみステーションの場合
①ごみステーション内にプラスチック製の衣装ケースや発泡スチロールの箱を設置
②ごみステーションの下部や側面を板張り

また、ごみの排出時間や曜日を守ることも鳥獣対策になるので、家庭ごみの「分け方・出し方」について、あらためてご協力をお願いします。

適正分別をお願いします

不適正物の中で分別を間違ひやすいごみの例は、表のとおりです。安定したごみ処理のためには、ご家庭での適正な分別が非常に重要です。正しい分別方法について今一度ご確認ください。

【表】分別を間違ひやすいごみの例

種類	間違い（混入物）の内容	正しい出し方
①生ごみ（オレンジ色） ※生ごみ以外はいれなくてください。	食品パックのまま	パックは洗浄し④青色袋へ
	レジ袋混入	洗浄し④青色袋へ
	水切りネット混入	洗浄し③緑色袋へ
②炭にできるごみ（茶色） ※燃えるごみと判断しないでください。	シュレッダー紙	⑥黒色袋へ
	輪ゴム・運動靴	③緑色袋へ
	葉・落ち葉	③緑色袋（他のごみは混ぜない）へ
③炭にできないごみ（緑色） ※その他ごみと判断しないでください。	家電製品・針金ハンガー	⑥黒色袋へ
	ガラスコップ・陶器茶碗	公共施設回収ボックスへ
	電池・電球・蛍光管	公共施設回収ボックスへ
④プラスチック類（青色） ※プラマークが目印です。洗浄してください。	保冷剤・カイロ	③緑色袋へ
	プラスチックハンガー・歯ブラシ・スポンジ	③緑色袋へ
	食べ残しプラ容器	プラ容器は洗浄し④青色袋へ 生ごみは①オレンジ色袋へ
⑤缶・びん・ペットボトル（赤色） ※中身を取り除き、洗浄してください。	食用油などのプラボトル	洗浄し④青色袋へ
	びんの金属キャップ	⑥黒色袋へ
	中身の残った化粧品びん・塗料缶	洗浄して⑤赤色袋へ
⑥資源（黒色） ※鉄金属・雑紙・わりばし以外のものを混ぜないでください。	ティッシュペーパー	②茶色袋へ
	箸（木製）	②茶色袋へ
	質の悪い紙	②茶色袋へ